



▽文字の書
きどりで老化を
防止しようと、
敬老の日を前に

した十四日、「第一回全国
老人ホーム・センター対抗
速書き健康法大会」（全百
本速記教育協会など主催）
が、大阪市北区、中之島セ
ンタービル内、N.T.T大阪
展示センターを本部会場に
して開かれた。写真。

▽フアクシミリとスピー
カーホンで、青森から九
州まで十八の老人施設、サ
ークルと本部会場を直結し
て、六十一百一歳の計二百
六十六人が参加。「鳥が鳴
く」「花が咲く」など、十
五秒間に二回ずつ朗読され
る短文を真剣な表情で答案
用紙に書きとっていた。



新聞 新 報 日

1985年(昭和60年) 9月15日

▽八十歳代で桑田伸さ
ん(八)(三重)、七十歳代
で高橋良枝さん(七)(神奈
川)、六十歳代では原田純蔵
さん(六)(奈良)と松崎清
一郎さん(六)(大阪)がそ
れぞれ優勝。競技会のあ

と、ト部文麿・兵
庫県医師会理事が
講演し「神経を集
中して指先を動か
すのは、頭をリフ
レッシュさせ、ボ
ケの予防に大変い
い」と速書きの効
用を力説した。

